



子供の誕生とともに 生まれるオリーブ

[OLIVERSARY]

小豆島に来るきっかけって何があるのでしょう?ただの観光なら他の場所に行ってしまいます。そこで考えたのが「OLIVERSARY」です。子供の誕生とともにオリーブの木を育てはじめる。そして、5~6年するとオリーブの実が成り、毎年収穫することができる。そして20年後の成人式には、そのオリーブの木を使って何か記念品を作る。これがOLIVERSARYです。「子供の誕生とともにオリーブの木が誕生する」ことで、小豆島に「他とは違う何か」がそこに生まれます。



プロジェクトメンバー

芝浦工業大学デザイン工学部2年 芝浦工業大学デザイン工学部2年 芝浦工業大学デザイン工学部2年 芝浦工業大学工学部1年

香川大学創造工学部1年

髙野 竜平 中島 望実 前田 瑠 Filbert Huberta 朝日 君佳

ポイント

「長く続く関係性」を生み出す

「OLIVERSARY」のポイントは 「長く続く関係性を生み出す」とこ ろにあります。普通の観光を考えた 場合、だいたいの場所は「一度行っ たらそれで満足」してしまうのが常 です。しかし、お墓参りを考えた場 合、どうでしょう?その場所の魅力い かんに関係なく、必ず毎年行きま

す。そして、「せっかく来たから」と いった感じで、どうにかしてその場 所を楽しむようにするはずです。

「OLIVERSARY」はこのような 「毎年、行く理由」をどうにかして作 れないか?ということを考えた結 果、生み出された提案です。オリー ブは小豆島の名産品でもあり、概ね 20年程度が寿命だと言われています。この「20年」をヒントに「誕生から成人」の期間を導き出しました。 子供の誕生記念に20年にわたるオリーブとの関係性を始める。そして、小豆島が他の観光地とは違うものになる。それが我々の狙いです。

オリーブと小豆島

- 日本で初めてオリーブの栽培が成功したのが小豆島
- 100年以上の歴史
- ○小豆島ならではのサービス
- 記念樹として人気があり、家庭でも栽培される
- まっすぐ育っため、木材としても有用である
- ――オリーブを生かしたお祝いサービスを提案しよう!



ねらい

- 自分だけのオリーブを植える経験を通して、小豆島自体に愛着を持ってもらう。
- 記念日のたびに小豆島を思い出してもらう。
- 観光上のサービスとして売り出すことで、クラウドファンディングのように初期投資なしでオリーブ畑を広げられる。

想

地域、そして他大学の学生との交流が刺激に

東京や埼玉から出て地方で実習を行う機会はなかなか得られないので、学校の主催で貴重な経験ができたのが良かったです。今回実習を行った小豆島は四国の離島で人口も少なく、東京にいるだけでは決して出会えないような綺麗な風景や名物を体験できたと思います。よりアイデアを現実的にする上でその場

所の特長や問題点を知っていくことは大切なことだと思うので、フィールドワークをしながら行う実習は非常に有意義でした。

違う大学の学生との交流・実習の 経験もほとんどなかったため、カリ キュラムの違いを改めて実感しまし た。各グループとも一人ひとりが得 意なところを担当して発表の準備を 進めており興味深かったです。グループ内だけでなく、グループ間でもアドバイスを交わすなど、協力し合いながら作品を作ることができました。短時間ながらもどのグループのアイデアも非常にユニークなものになっており、良い刺激を受けました。

(中島 望実)

15